



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード 「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

第53期（平成29年度）生徒会スローガン

挑戦 ～実行なしに成果なし～

平成29年度（第53期）生徒会の生徒総会が、5月9日（火）に行われました。自分たちの生活を自分たちで考えられる生徒会は本校の良さの一つです。「成果とは挑戦した時に得られる結果や個々、クラスでの成長のことである。成果を得るためには、個々やクラスでの挑戦や実行が必要不可欠である。挑戦や実行を行い成果を出していきながら生徒一人ひとりの学校生活が向上していけるようにする。」という、今年度生徒会の意志のもと第53期生徒会スローガン『挑戦～実行なしに成果なし～』が承認されました。

各委員会の挑戦すること

- <校風> 明るい挨拶、正しい服装、時間を意識した行動への挑戦
- <学芸> 歌練習を毎日行う挑戦
- <整美> きれいな校舎にするために、無言での黙想や移動、清掃への挑戦
- <視聴覚> 西中の雰囲気作りへの挑戦
- <図書> 8時15分朝読書開始徹底への挑戦
- <編集> 原稿の締め切りまでに100%提出への挑戦
- <保健> 手洗い、うがいの徹底とハンカチ、ティッシュを毎日持ってくることへの挑戦
- <造園> 花でいっぱいの西中作りへの挑戦
- <人権福祉> 全校の人権への理解を深めると共に、福祉活動の活性化への挑戦
- <給食> 給食ルールを定着させ、衛生的な給食への挑戦
- <体育応援> 体育館の違反者を減らすための呼びかけなどの挑戦、応援での進化の挑戦
- <代議> 各委員会の企画の向上に挑戦
- <総務> 生徒一人一人の学校生活向上への挑戦



各委員会の活動計画を提案する

総会では、生徒会総務や各委員長から今年度の活動計画が具体的に示されましたが、会員からは個々の提案に対して活発に質問や意見が出されました。活動の具体に踏み込んだ質問があったり、時には委員会の姿勢を正す厳しい意見も出たりしましたが、より良い活動になるための前向きなアイデアの提示や委員長の提案を後押しする積極的な意思表示もあり、一人ひとりの生徒が生徒会活動に主体的に取り組んでいこうという意気込みを感じられる時間となりました。充実した今年度の生徒会活動に期待をしています。



積極的に意見を述べる

部活動参観日にお越しください

1年生の入部をもって、5月2日（火）に部活動発足会が行われました。今年度の部活動の本格的スタートに合わせ、先に学校より通知いたしました通り、明後日の12日（金）に部活動参観日を行います。更埴西中学校の部活動運営についてご理解いただくとともに、より良い部活動運営のために各部活動ごとに顧問との懇談を持てるよう計画しました。長野県全体で中学校部活動のあり方が見直されている時期です。「スチューデント・ファースト（学習者本位）」の精神に基づき、生徒の主体性を尊重した活動への移行を図っていくために、保護者の方のご理解とご協力は欠かせないと考えています。ぜひ、ご来校いただき、更埴西中の部活動を知っていただくとともに部活動運営について顧問と考えを共有していただけるようお願いいたします。

「長野県中学生期のスポーツ活動指針」で示されている活動基準

【適切な活動基準】

「平日1日、土日に1日の休養日」

「平日の総活動時間を2時間程度」を示す背景

- ① 中学生としてバランスのとれた生活が大切
- ② 適切な休養日の設定は、トレーニング効果を高め、心身のリフレッシュにもつながる

【運動部活動の延長として行われている社会体育活動は、運動部活動に一本化】

- ① 責任の所在が曖昧、責任能力が不十分
- ② 一部の過熱化が、生徒や家庭への負担、学習や家庭生活とのバランスを欠く

【朝の運動部活動は、原則、行わない】

- ① スポーツ傷害の危惧

ウォーミングアップやクーリングダウンの時間が、十分にとれない

- ② 健康面への影響

朝食から昼食までの間隔が空き過ぎる

- ③ 効果的な活動

平日の総活動時間が2時間の場合、放課後の活動にまとめ充実させることがより効果的

<長野県教育委員会事務局スポーツ課「長野県中学生期のスポーツ活動指針について」より抜粋>

しなやかな体づくり =学校保健講演会=

部活動参観日に合わせて、学校保健講演会を開催します。講師に身体教育医学研究所理事の中村 崇さんをお招きしての講演会です。昨年度の学校保健委員会でのご指導が好評で、「是非、多くの生徒、保護者にも聴かせたい。」とのご意見を寄せていただいたことを受けて企画しました。運動部活動におけるけがの少ない体づくりだけでなく、日常生活においても身体の健康につながる運動のあり方を、生徒、保護者、学校教職員が共に学ぶ機会になればと考えています。けが予防のための準備運動やクールダウンの重要性や方法、大人の肩こり、腰痛予防など、軽い運動を交えて効果を実感できる講演です。動きやすい身軽な服装でお出かけください。

インフルエンザに注意

P T Aメールでも配信しましたように、先週よりインフルエンザの感染が広がっています。ご家庭でも生徒の体調管理、インフルエンザ感染予防に努めていただきますようお願いいたします。発熱等のインフルエンザの症状が見られた場合、医療機関で診察していただき、十分な休養をとるようにしてください。

（文責：教頭 畑）